

ふたなりジータちゃんと
ガレランさんのH漫画♥



全10P(文字あり)



疑問

何故こんな事に…?

オチンポをこき下ろす

わかんない…♡

朝起きたら
こうなってたのお♡



『見てえ…♡ガレリンさん♡
私のアソコに♡おチンポ付いちゃった♡♡』
そ言う特異点の股間には
とても大きな男根が屹立しています。



『ガレリンさん♡その母乳が出てくる
大きくてエッチなおっぱいで
私のおチンポパイプつてえ…♡
おチンポがすうごく固く勃起して…♡
とても痛いのお…♡苦しいのお♡♡』

ガレリンさん
早く♡
早く♡

はぁ♡
はぁ♡

あ♡
「憐憫」

『特異点…苦しんでいるのですね
私が何とか解消してあげましょう』
特異点は2つの性の情欲に苛まれ、
苦しんでいるようでした。
私に出来る事なら何でもしてあげなくては…

「はああ…♡ガレシヨさんのパイズリ♡
母乳がローションみたいになってえ♡
とっても気持ちがいいよお…♡♡」

はあ…♡
はあ…♡
はあ…♡

「怒張」
「特異点のおチンポは…
固く脈打って遅く…
とても…淫猥です…」

胸でシてあげているだけなのに…
特異点の気持ちよがる顔を見るだけで
私の方まで身体が熱くなっています…

「はあ…♡
ガレシヨさん♡
おっぱい♡
おっぱい♡
おっぱい♡」





「あはっ♡
ガシヨンさんもやる気満々なんだー♡」

「えっ♡何？ガシヨンさん♡
聞こえな〜い♡♡」

「こんなに雌汁でグツグツ
煮え滾ったおまんこしてるんだもん♡
全然説得力ないよねえ♡♡」

「誤想」
「それは誤りです、特異点。
早く貴女の情欲を解消しないと
諸々の務めに支障が！おっ♡♡」

「ふふ不詳…っ♡」
「ち、違います♡ そんな事はありません♡
これは貴女の肉欲を楽にするための…♡」
「おっ♡おっ♡おおおっ♡♡」



「絶頂♡♡」
「おおおっ♡♡イクッ♡♡」
「いっでしーまいます、特異点っ♡♡」

「あああ♡♡ガリッ♡♡さんのおまんこ♡♡
おチンポめちやくちや搾り取ってくるっ♡♡」

「ねえガリッ♡♡さん♡♡
素直に「おチンポ下さし」って
言ってくれたらもうっ♡♡
いっはしてあげるよ♡♡」

「猶々♡♡♡♡」
「もっ♡♡もっ♡♡と私に貴女の
おチンポを下さい♡♡シタ♡♡♡♡」



「悦楽♡」
「ほおおん♡」
「ジータのちんぽ♡」
「気持ちいいです♡♡」

「うん♡
ガシヨンの
おまんこも
だよ♡♡」

「うん♡」

「はあ♡
ガシヨンのちんぽ♡
ちんぽにチウチウ
吸い付いてくる♡♡」

「孕ませるっ♡ガしヨンさんを
私のセーエ中で孕ませちゃう
からねえっ♡♡♡♡」

「ほらっ♡卵子っ♡
出せっ♡排卵するっ♡」

「承諾♡♡♡」
『あああっ♡はいっ♡♡♡
孕ませて下さい♡♡
何人でも産みますっ♡♡♡』

「♡♡産出っ♡♡」
『ジータの子宮マッサージでっ♡
新鮮な卵出てしまいますっ♡♡』

「射精っ♡絶頂っ♡♡」
『射精してえっ♡精液♡♡子種汁♡♡
私の子宮にい♡射精せっ♡射精せえっ♡♡』
『おおっ♡ガしヨンの下品言葉ちゃんぽに効くっ♡♡
射精すっ♡♡子宮開け♡♡ガしヨン♡♡』





「憂慮」

「ジータ、そんなに激しくしては
赤ちゃんが心配になります」

「大丈夫だよ♡」

私とガレシヨンの子だもん♡
これくらい胎教のうちだって♡」

「それより…早くこの子産んで
お胎を空けてよ♡♡
次の子早く仕込みたいんだからあ♡」

「快諾…♡」
「次の赤ちゃん…
楽しみです♡♡」

















